

平成 28 年 7 月 16 日（土）ウェスタ川越において、TV 番組や CM でも語られることの多い禁煙をテーマに第 8 回地域がん診療連携拠点病院・埼玉医科大学総合医療センター市民公開講座が開催されました。

石田院長補佐の開会挨拶から始まり、第一部は呼吸器内科医の立場から植松和嗣先生（当院呼吸器内科教授）による「呼吸器疾患と喫煙」について導入講演が行われました。日常診療から感じる喫煙による呼吸機能低下や悪性新生物との関係性についての内容でした。

第二部は基調講演として、「世界にひとつだけの健康エンターテイメント～唄って禁煙、笑って卒煙、踊って救命」をテーマに循環器内科医で巣鴨とげぬき地蔵高岩寺住職の来馬明規先生よりご講演頂きました。内容は、まず自動体外式除細動器（AED）についての紹介がありました。AED とは電気ショックにより、心室細動を止めて正しい心臓のリズムに戻す機器のことです。年間 800 万人の参拝者で賑わう巣鴨において、町ぐるみで AED を設置し、心臓マッサージの方法を習得する事で、多くの方々を救命出来ている事例をお話し頂きました。

次に歌や踊りを交えてニコチンの依存性や悪影響についての紹介がありました。喫煙者自身はもちろん、周囲の人々や生産者（たばこ農場で働く児童労働）にもいかに影響を及ぼしてしまうかを分かりやすくご説明頂きました。喫煙者が病気になってしまった場合の実演や今話題の電子たばこについての考察は大変興味深かつ恐ろしい内容であったと感じました。

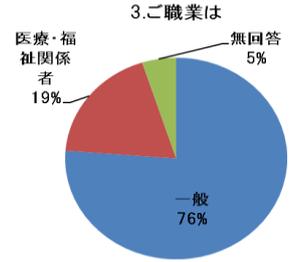
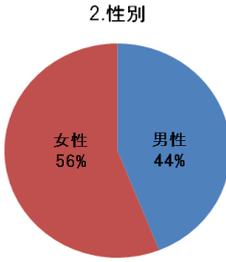
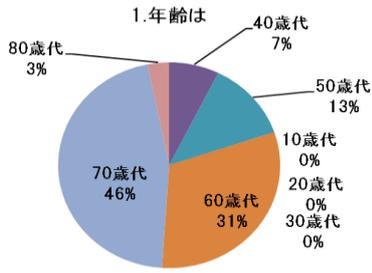
最後の質問コーナーでは、会場から「仏教と禁煙の関係について」、「喫煙によるストレス解消とその嘘について」など活発な質疑応答が行われました。多くの質問に対して来馬先生が一つ一つ丁寧にお答え頂きました。

「やめたくてもやめられない」、「分かっちゃいるけどやめられない」喫煙をただ健康に悪いと説明するだけではなく、視覚聴覚など 5 感に訴える方法で多面的にお話しされているのが印象に残りました。毎月 22 日はスワンスワン（吸わん吸わん）で禁煙の日だそうです。喫煙者の皆様、これを機に禁煙をしてみませんか？

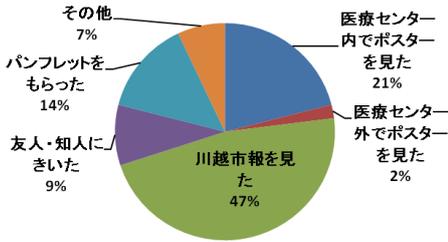
参加者は 47 名でした。蒸し暑い中ご参加頂きありがとうございました。

アンケート結果

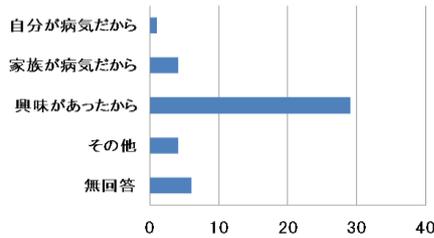
回収率 91% (42名)



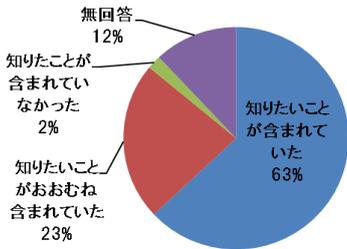
4.今回の市民公開講座はどこで知りましたか



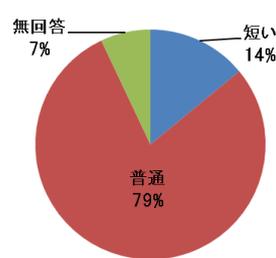
5.参加の動機は何ですか(複数回答有り)



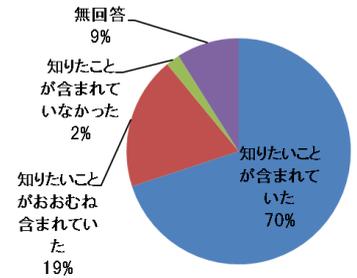
6.導入講演の講師の講演内容はどうでしたか



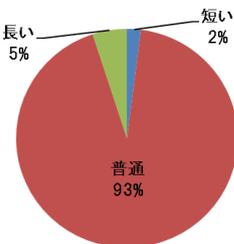
7.導入講演の時間はどうでしたか



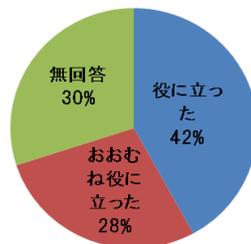
8.基調講演の内容はどうでしたか



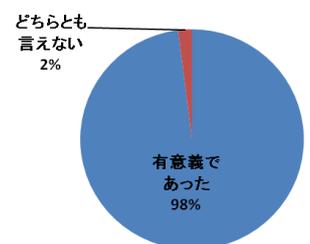
9.基調講演の時間はどうでしたか



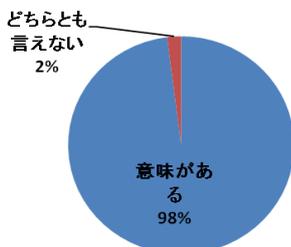
10.質疑応答はどうでしたか



11.本日の市民公開講座はどうでしたか



13.今後、がんに関する市民公開講座を継続することは



アンケートにたくさんのご意見を頂き、ありがとうございます。がん診療支援室一同、市民公開講座を開催するにあたりより一層皆様と一緒に考えていけるような内容に取り組んで参りたいと思います。

次年度も7月から8月頃の開催を予定しております。当院ホームページ、川越市報、院内ポスターなどのご案内をさせていただきます。